

支援情報等のお知らせ

- 1) 子ども・若者支援協議会からのお知らせ
 - ① インターネット上の誹謗中傷等の相談窓口が開設されました
 - ② 「県・市町村青少年相談担当職員研修会」申込みはお早めに
- 2) 自立支援に関するイベント等の情報
 - ① ひきこもり家族教室「本人と家族の気持ち・会話の工夫」
 - ② 講演会「不登校、ひきこもり・元当事者だからできるピアサポート」
 - ③ ひきこもりUX会議「『ひきこもり』をとらえなおす」
- 3) 民間活動団体等の紹介
 - ① ぐんま里山学校

1 インターネット上の誹謗中傷等の相談窓口が開設されました

県では、社会問題化しているインターネット上の誹謗中傷等の無料相談窓口を10月22日から生活こども課に開設しました。
相談員が相談内容に応じて具体的な対処方法等の助言を行うほか、必要に応じて弁護士による法律相談や臨床心理士などによる「心のケア」につなげていきます。

なお、相談はメール及び電話で受け付けています。

相談専用アドレス：netsoudan@pref.gunma.lg.jp
(本文に氏名、年齢、居住市町村、電話番号、相談内容を記載)

相談専用電話：027-897-2953
月～金曜日（祝日及び12月29日～1月3日を除く）9時～17時

注）メールは24時間受付、電話相談の受付は16時までです。

<問い合わせ先>

・生活こども部生活こども課
電話 027-226-2906
E-mail seikatsuka@pref.gunma.lg.jp

注）迷惑メール対策のため、メールアドレスの一部
(@pref.gunma.lg.jp) を画像化しております。

■県教育委員会の電話相談も利用できます■
いじめに関する緊急の相談や子供のSOS全般を受け付けています

◆24時間子供SOSダイヤル

○電話 フリーダイヤル 0120-0-78310（なやみいおう）
※保護者の方も相談できます。
※24時間、通話料無料で相談できます。

詳細はこちらをご覧ください
http://www.nc.center.gsn.ed.jp/?page_id=375

先月案内した研修会、定員に限りがあるので早めに申込みください。

【研修会の概要】

- テーマ 不登校・ひきこもり状態から一歩前へ
一 社会に出て「働き始める」ための支援 一
- 日時 12月25日（金）13：00～17：00
- 会場 群馬県公社総合ビル ホール（前橋市大渡町1-10-7）
- 内容
 - (1) 鼎談 ひきこもり状態の若者が抱える
「働き始めることへの不安と、その対応」
NPO法人リンケージ 理事長 石川京子氏
ぐんま若者サポートステーション 唐沢文彦氏
みどりクリニック 院長 鈴木基司氏
 - (2) 就労支援現場からの報告
 - ① 学校から社会への移行準備
 - ・高校における就労準備の指導
高校教育課 生徒指導係 指導主事 飯出得男氏
 - ・特別支援学校における就労準備の指導
特別支援教育課 指導係 補佐 近藤千香子氏
 - ② 若年求職者への就労支援
 - ・若者サポートステーションにおける若者支援
ぐんま若者サポートステーション 唐沢文彦氏
 - ・就労準備支援事業における若者の就労支援
社会福祉法人 明清会 伊勢崎市就労準備支援事業
アイリス就労準備支援員 船橋郁美氏
 - (3) 民間の支援者による意見交換
社会とつながるために
「本人に寄り添ったスモールステップ支援とは」
 - ・進行役 NPO法人リンケージ理事長 石川京子氏
 - ・ゲスト
NPO法人ぐんま若者応援ネット理事長 佐藤真人氏
NPO法人はじめの一歩 代表 板垣宏美氏
一般社団法人ヤング・アシスト
支援コーディネーター 高橋奈鶴子氏
 - (4) まとめ 石川京子氏
「働き始める」を支援する一支援者に求められることは何か一

【申し込み受付・問い合わせ先】

- ・定員150人（先着順）
- ・12月14日（月）までに、メールにて参加受付
氏名、所属（勤務先など）、申し込み代表者の連絡先
- ・希望者で参加できなかった方のために、
後日、録画内容をオンライン配信します
- ・県庁 児童福祉・青少年課 青少年育成係
電話：027-226-2393
E-mail：kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp

3 | 11/26 ひきこもり家族教室 「本人と家族の気持ち・会話の工夫」

ひきこもり支援センター（県こころの健康センター内）では、ひきこもりに悩んでいる家族を対象に家族教室を開催します。

ひきこもりに関する知識や情報、ちょっとした声かけの工夫などを学びながら、ご家族自身の気持ちにゆとりを持つ機会にしませんか。家族の気持ちの安定が、本人の気持ちにも影響を与え、本人の状態が良くなるという研究結果があります。

初めての方は個別の相談を受けた後、必要に応じて家族教室にご案内しています。

支援者の見学も受け入れています。希望される方は事前に連絡をお願いします。

【家族教室】

教室：11月26日（木）13:30～16:00

内容：ひきこもり家族教室「本人と家族の気持ち・会話の工夫」
ワークを交えながら、家族自身の生活を豊かにするポイントについてみんなで学びます。

会場：群馬県こころの健康センター（前橋市野中町368）

連絡先：ひきこもり支援センター
専用ダイヤル 027-287-1121

4 | 11/15 ひきこもり支援講演会
「不登校、ひきこもり・元当事者だからできるピアサポート」

ひきこもり経験者・家族が仲間とともに明るく前向きに歩き、学び・成長することを目的とする団体、KHJ群馬「はるかぜの会」では、ひきこもり支援講演会を開催します。

【ひきこもり支援講演会】

日時：11月15日（日）13:30～15:30

会場：群馬県庁昭和庁舎 35会議室

題目：「不登校、ひきこもり・元当事者だからできるピアサポート」

講師：佐藤真人氏

アリスの広場（NPO法人 ぐんま若者応援ネット）代表

対象：本人経験者、家族、および関心のある方

定員：26名（先着：感染対策に準じた人数となります）

（後半に、講師との交流タイムを予定しています）

〔申込み お問い合わせ〕

* 感染対策のため予約制です。事前申し込みをお願いいたします。

* 当日は体調を整えマスク着用等、対策ルールにご協力ください。

KHJ群馬はるかぜの会 TEL 090-2916-0346

harukazenokai.gunma@gmail.com

KHJ全国ひきこもり家族会連合会の詳細はHPをご覧ください。

<http://www.khj-h.com>

5 | 1/7 ひきこもりUX会議「『ひきこもり』をとらえなおす」

安中市では、令和2年度厚生労働省社会福祉推進事業で一般社団法人

「ひきこもりU×会議」との共催で下記の研修会を開催します。

ひきこもり状態にある人たちが支援や居場所に何を期待しているのか
また、何を不安に思っているのか。

この研修会では、ひきこもりU×会議の活動現場での経験や、実態調査で集まった当事者の声を皆さんと共有しながら、「ひきこもり」への理解とまなざしを捉え直し、支援に活かしていただきたいと思ひます。

【研修会】

日時：2021年1月7日（木）14：00～16：00（開場13：15）

会場：安中市松井田文化会館 大ホール
（安中市松井田町新堀530）

説明：厚生労働省

「ひきこもり支援施策の方向性と地域共生社会の実現に向けて」

- 講話：1) 体験談：ひきこもり経験をもつ当事者として
2) 当事者活動から見える支援のあり方
3) 1,686人が回答したひきこもり
／生きづらさの実態調査に寄せられた声
4) 支援に携わる人へ伝えたいこと

講師：林恭子氏 一般社団法人ひきこもりU×会議代表理事
高校2年で不登校、20代半ばでひきこもりを経験。
2012年から「自分たちのことは自分たちで伝えよう」と
“当事者発信”を開始、イベント開催や講演・研修会の
講師などの当事者活動をしている。
「東京都ひきこもりに係る支援協議会」委員
「就職氷河期世代支援の推進に向けた全国プラットフォーム」議員など

対象：ひきこもり支援に携わる方

定員：150名（先着順：全席指定） 締切り：12月28日（月）

〔申込み お問い合わせ〕

* 安中市福祉課社会福祉係 TEL：027-382-1111（市代表番号）

* マスク着用等、コロナ感染拡大防止対策にご協力ください。

<主催団体「ひきこもりU×会議」について>

2014年6月発足。ひきこもりをはじめ、人とかかわる困難さ、居場所のなさ、“ふつう”や“こうあるべき”と違うこと—
さまざまな背景に起因する「生きづらさ」。

そのすべてを「Unique eXperience(ユニーク・エクス・リエンス＝固有体験)」
と捉え、不登校、ひきこもり、発達障害、性的マイノリティなどの
当事者・経験者が、当事者視点で「生存戦略」提案・発信を続ける。

活動の詳細はHPをご覧ください。

<https://uxkaigi.jp>

6 民間活動団体等の紹介 ぐんま里山学校

ぐんま里山学校は、変化していくこれからの時代を生きていくのに
不可欠な、“生き抜く力”を身に着けるための、野外教育を主軸とし
た学校です。

学校教育法に基づかない教育機関「オルタナティブスクール」です。
ある生徒から「フリースクールに行くと不登校であることを認める
ことになり、行きたくなかった」という声がありました。もちろんフ
リースクールの側面も持ち合わせていますが、私たちは里山”学校”

であると言っています。

里山学校では、子どもたち自身の言葉や行動を認めたり問いかけたりしながら、自然と遊びを発展させていくサイクルをつくります。
遊びはその時次第で、子どもたちがどのように発展していくかは分かりませんが、遊びの中で、自然と「主体的に考えて行動する力」を身に付けていきます。

里山学校の様子はHPをご覧ください。
<https://school.satoyama.site/>



次号は、2020年12月中旬を予定しています。
本メルマガを、皆様の周りの方にも周知いただければ幸いです。
また、子ども・若者支援に関する情報等の提供もお待ちしています。

メルマガを新規で受信希望する方は、「所属・氏名・メールアドレス」を『kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp』までお送り下さい。

..... 群馬県子ども・若者支援協議会

- ▼ 事務局 群馬県前橋市大手町1-1-1 群馬県生活子ども部
児童福祉・青少年課内（県庁舎 12階南フロア）
- ▼ TEL 027-226-2393
- ▼ FAX 027-223-6526
- ▼ e-mail kowaka-shien@pref.gunma.lg.jp
- ▼ HP <http://smilelife.pref.gunma.jp>